

楽しい旅行のキーパーソンは添乗員!!



「トイレのことばかり考えなくても大丈夫!! 旅行はできますよ」

旅行したい気持ちを応援する仕事があります。マイリハ編集部では今回長年にわたり障害者の旅行企画を続けてこれ、添乗経験も豊富な(株)チックトラベルセンター ハートTOハート事業部の松本泰守さんにお話を伺いました。

Q: どのようなきっかけで障害者の旅行企画に携われるようになったのですか。

松本: 実は障害を持っている人たちの旅行を企画したくてこの業界に転職しました。

サラリーマンだった頃に重度心身障害児の家族グループの旅行のボランティアをする機会がありました。重度の構音障害を持つお子さんの言葉が聞き取れた瞬間の感動と、ご家族の笑顔が忘れられなく、自分も旅好きだったこともありまして。社長との出会いと理解もあって今に至っています。

Q: 障害者が旅行に行く意味を感じられていらっしゃると思いますが……

松本: もちろんです。「出来ない」と思っていた旅行が「出来た!」ことで大きな自信をお土産に持って帰られます。リピーターが多いですよ。

Q: ツアーに初めて参加される場合、同行される家族やヘルパーさんは、何かと周囲に気を使ってしまういませんか。旅行先のトラブルが心配で、踏み切れない人も多いと思いますが……

松本: そうですね。皆さん旅行に行くということでも普段から健康管理をなさいます。無理な行程を計画しないよう注意していますが、他にも重度障害の方がいらっしゃることで自分の障害は軽度だと気づき、お互いに譲り合って気持ちよく旅行なさいます。ご一緒に参加いただくご家族やヘルパーさんも大事なおお客様です。介助だけで終わってしまっただけで旅行代金をいただく意味がありません。そのために添乗員だけでなく、現地で車いすをサポートして下さる人を手配します。また階段のない観光コースを工夫し、食事の時間はゆっくりとれるよう計画します。



グランドキャニオンで by ♥松本

Q: 国内外での旅行を企画してよかったと思うことがありますか?

松本: 以前、温泉ツアー企画をしました。旅館側の「温泉にどうやって入ってもらおうか…」を説得し、地元ボランティアの協力を得て実現できました。そのことが新聞に取り上げられたこともあり、その旅館は、ユニバーサルな旅館として評判を得ることができました。双方から喜ばれる結果となりました。そんなときやりがいを感じますねえ。

インタビューを終えて:

だれもが堂々と旅のできる社会の実現に向けて。

形ばかりのバリアフリー社会にならないよう、みんなで外にでよう。航空会社も観光地もそんなあなたを待っています。家族・介助ボランティアそして松本さんのような添乗員さんと旅行を実現してゆきましょ。ユニバーサル社会のはじめの一歩はあなたからかもしません。



シドニー・オペラハウスで by ♥松本

観光庁長官登録旅行業第735号

(株)チックトラベルセンター
ハートTO ハート事業部

〒460-0003
名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル6F
TEL (052)222-7611
FAX(052)212-2778
e-mail:matsu@tictravel.co.jp

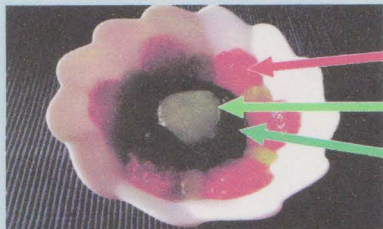


おっしーのシリーズ 嚙下食③ ~トマトときゅうりの野菜サラダ~

まだまだ暑い日が続く今日この頃…
サッパリとしたものが食べたくありませんか?
嚙下障害があると食べづらくなるものに、生野菜があると思います。
今回は、彩りが決め手☆野菜サラダです(*^_^*)

【材料】

トマト
きゅうり
トロミ剤
水
ドレッシング
(お好みで)



トマト
きゅうりの中身
きゅうりの皮

【作り方】

- ① トマトを湯剥きして、適量の水を加えてミキサーにかけます。
 - ② きゅうりの皮をむいて、皮の部分と身の部分に分けます。
 - ③ ②をそれぞれ適量の水でミキサーにかけます。皮の部分はなかなかペースト状にはならないので少し粒が残ります。
 - ④ 嚙下の状態にあわせて、トロミ剤を加えて食べやすい形態にします。
 - ⑤ お皿にそれぞれを彩りよくキレイに盛り付け、冷蔵庫でしばらく冷やします。
 - ⑥ お好みのドレッシングにトロミ剤でトロミをつけておきます。(ジュレにしても食べやすくおしゃれに見えるはず)
 - ⑦ サラダが冷えたら、⑥のドレッシングをお好みの量かけて召し上がれ(*^_^*)
- *ドレッシングを加えてミキサーにかけますが、味の調整が難しいのと色合いが悪くなるため、今回は水のみでミキサーにかけています。

おっしー (押富俊恵)

チェアウォーカー歴12年目の作業療法士。筋無力症と共に生きる当事者セラピスト。
2016年にNPO法人ピース・トレランス代表。2017年11月18日尾張旭市旭中学校体育館で第1回「ごちゃまぜ運動会」を開催、障害体験×運動会というユニバーサルデザインな運動会を企画しています。



なごや福祉用具プラザ

福祉用具の日イベント

日時:平成29年10月1日(日)10:00~16:30

場所:なごや福祉用具プラザ展示場

内容:ペットボトルオープナーの製作体験の他、ゲーム企画として、

- ①リーチャーを使ったお菓子のつかみどり、
- ②パネ箸での小豆つまみを実施し、参加者へ各自助具の機能を知っていただき、手指が不自由な方への理解を促すことを目的に開催します。

(問い合わせは 担当:福山まで)

技術ボランティア

自助具・IT・被服の3部門で構成される技術ボランティア

オンリーワンの道具で暮らしやすさを工夫しましょう。

お電話で「……の相談で」とお問合せください。

来訪・出張の日程調整をいたします。

被服ボランティアは毎月第2、4火曜日の午後活動しています。

なごや福祉用具プラザ

営業時間 午前10:00~午後6:00 火曜日から日曜日

休業日:月・祝休日・年末年始

〒466-0015

名古屋市中区昭和区御器所通3-12-1御器所ステーションビル3F

TEL:052-851-0051

FAX:052-851-0056

e-mail:n-plaza@nagoya-rehab.or.jp

金城学院ファッション工房

所在 〒463-8521 名古屋市守山区大森2-1723

金城学院大学/生活環境学部/環境デザイン学科

問い合わせ

平林由果 (hirabaya@kinjo-ac.jp) (研究室W3-533)

電話:052-798-0180(代表番号)FAX:052-798-0370(学部事務室)

ホームページ: <http://www.kinjo-u.ac.jp/f-kobo/top/index.html>

スタッフブログ: <http://ameblo.jp/kinjo-f-kobo/>